



偉人の足跡 / 久松 定謨
【慶応3年～昭和18年】

最後の松山藩主松平定昭の養子になり久松家を継ぎました。東京に出て勉学に励む郷土の若者のための常盤会創設や、萬翠荘の建築、松山城を松山市に寄付するなど多くの功績を残しています。



萬翠荘

- 8. 昭和25年5月、新築された伊予鉄道の本社・松山市駅舎
- 9. 全国巡行でご来松の際、興居島でユムシを採集される天皇陛下（昭和天皇）
- 10. 昭和25年、当時の市議会
- 11. 昭和30年、市庁ホールでの市議会
- 12. 工事費40万円で三津浜に完成した松山で最初の上水道

- 1. 開業当時の国鉄松山駅
- 2. 昭和16・17年頃の消防車
- 3. 昭和2年頃、松山裁判所前の電車通り
- 4. 昭和22年、戦後初の松山市会議員集合写真
- 5. 松山市弘報の創刊号
- 6. 南海地震で湧出の止まった道後温泉が、再び湧出したのを機に始まった復興祭（現在の松山春まつり）
- 7. 堀之内に開設した四国初の市営競輪場（当時の競輪場入り口）

昭和元年-64年

【1926-1989】

昭和27年 (一九五二)	昭和26年 (一九五二)	昭和25年 (一九五〇)	昭和24年 (一九四九)	昭和23年 (一九四八)	昭和22年 (一九四七)
11月13日 3月29日	9月19日 7月20日 4月5日	5月3日 3月18日 1月21日	11月11日 4月30日	7月31日 7月4日 3月20日	9月6日 6月23日 3月20日
松山城跡が国の史跡に指定 市役所の玄関に「サーピス・ステーション」を新設 松山市議会定例会規則制定（3、6、9、12月に開催）	道後温泉家族風呂白鷺湯が落成 初の松山港まつりを開催（7・22） 子規五十年祭を開催。子規記念切手を発行	松山競輪場が完成し、第一回競輪を開催 天皇陛下（昭和天皇）ご来松。県立農事試験場など数カ所をご視察（3・20）。19日には興居島で「ユムシ」を採集され、道後温泉又新殿（ゆうしんでん）にご入浴 県下初の公民館・八坂公民館が開館	愛媛大学開学式 松山商科大学開校式	全国で最初の市会月報（現在のまつやま市議会だより）創刊 市弘報（現在の広報まつやま）創刊	道後温泉の湧出はじまり入浴を再開 松山市会委員会条例制定（8常任委員会設置） 市庁ホールを映画館として市民に開放

昭和21年 (一九四六)	昭和20年 (一九四五)	昭和19年 (一九四四)	昭和17年 (一九四二)	昭和16年 (一九四一)	昭和15年 (一九四〇)	昭和12年 (一九三七)	昭和10年 (一九三五)	昭和7年 (一九三二)	昭和5年 (一九三〇)	昭和2年 (一九二七)
12月21日 11月13日	11月6日 6月20日	4月1日 5月4日	11月20日	8月1日 2月12日	4月19日	8月21日 5月13日	4月5日 2月1日	11月4日 10月1日 9月25日	4月29日	
南海大地震で道後温泉の出湯が停止が出席 俳誌「ホトトギス」六百号記念俳句大会を正宗寺で開催。高浜虚子・柳原極堂ら	国鉄松山～宇和島間が全通 三津の朝市が復活	道後湯之町、生石村、垣生村を市に編入。市役所出張所を各所に設置	結婚相談所を市役所内に開設 道後湯之町、生石村、垣生村を市に編入。市役所出張所を各所に設置	市制五十周年記念式典を開催 三津浜町、和気村、久枝村、堀江村、潮見村、味生村、桑原村を市に編入。市役所出張所を各所に設置	市庁舎（二番町）の落成式	道後湯之町の一部を市に編入 松山商業学校が第九回全国中等学校選抜野球大会で二度目の優勝	加藤嘉明築城三百年祭を挙行	道後湯之町冠山のふもとに鷲の湯を開設 市学務課が新玉小学校で学校給食を試験的に実施 市内の町名、町区域を大幅に改正（小唐人町を大街道、国鉄通を大手町などに町名変更、また勝山町、昭和町、真砂町など新町名が誕生）	道後湯之町冠山のふもとに鷲の湯を開設	